

出席者

菊地・伊藤(正)・沼里・久保田各評議員

校長、副校長、事務長、総務・教務・生徒・進路各部長、機械・電気電子・建築設備各科長

計 14 名

(1) 開会 (副校長)

(2) 挨拶 (校長)

本日の第1回評議員会では学校経営計画についての提言を頂き、本年度の教育活動の方向性を固めていく。2月の第2回評議員会では自己評価に対する意見を伺い、全教職員で成果と課題を共有しながら、次年度の学校運営に反映させていきたい。

生徒の様子や学校の取り組みについては、今後とも学校ホームページや校報「山ぼうし」を通じて、最新の情報を発信していく。

昨年度は雨天のため中止となった「鮭の町復興クリーン大作戦」は、本年度は多くの方々の協力を頂き、総勢550名が参加して予定通り終えることができた。今後とも地域貢献活動に尽力し、地域とともに歩む学校でありたいと考えている。

<自己紹介>

(3) 報告

ア 教育目標と学校経営計画について (校長)

学校要覧の P5,P6 及び、平成28年度学校評価報告書についての説明

(要覧 P5: 目指す学校像、P6、3の②: 自己肯定感を来年は7割へ)

イ 学校状況の説明 (各部、各科)

学校概要資料により説明

(4) 意見交換

【評議員】

現3年生の進路希望はどのようになっているのか

【進路課長】

62名中、就職45名、うち管内は30名弱で県外は12名である。進学希望者は17名であるが、これは4月の調査であり、7月3日からの三者面談でさらにつめていく。

【評議員】

県北、沿岸は地元に残りづらいが宮古は金型産業の会社があるので、残りやすい。ハードとソフトのどちらに進むかをはっきりさせて欲しい。マシニングがあることを、もっとアピールしたほうがいい。

【評議員】

建設会社の総務部長と話をしていて、2年でやめた人がいると聞いた。理由は、管理ではなく大工をやりたいからだという。就職するとき要望を聞いて欲しい。

【進路課長】

もう少し我慢すれば、管理の面白さもわかってくるのだけに大変残念である。

【建築設備科長】

夏休みに会社へ行って、ミスマッチを防いでいる。監督はコミュニケーション能力が大事である。

【評議員】

「鮭の町クリーン大作戦」では高校生がリーダーシップをとり、中学生と丁寧にゲームまでやってくれた。この行事は貴重な機会であり感謝している。

授業では、落ち着いた学習ぶりであった。「地域の復興の担い手」という目標が力強い。地域の復興は工業高校に負うところが多いので、連携してやっていければと思う。

【評議員】

うちの会社で、近年4名受け入れ、その4名が地域の消防団に入った。会社に入ってから資格をとることがあるので、資格に挑戦する気持ちを持たせて欲しい。家庭でも5Sは大事なので、クラブ等をつうじて教えていただきたい。

【評議員】

生徒が素直である。挨拶も自然にしてくれるので、すごくいい雰囲気だった。授業参観は、津波模型の話聞いた。工業は津波模型が柱の1つだが、その他にも作って欲しい。

資格には積極的にチャレンジしてもらって、受からないときどうするかを学んで欲しい。資格試験は会社に入ってもある。取得すると自分のものになる。たくさん持っている、成長するし、自信にもなる。

【評議員】

親の立場で言うと、地域に残ってくれた方がよい。工業はものづくりの学校なので、小さい頃からの興味が必要になるので、小中学校と関わっていただきたい。

(5) 閉会（副校長）